

## 1-5 1993年北海道南西沖地震の余震活動(2)

### Aftershocks of the 1993 Hokkaido-Nansei-Oki Earthquake (2)

北海道大学理学部

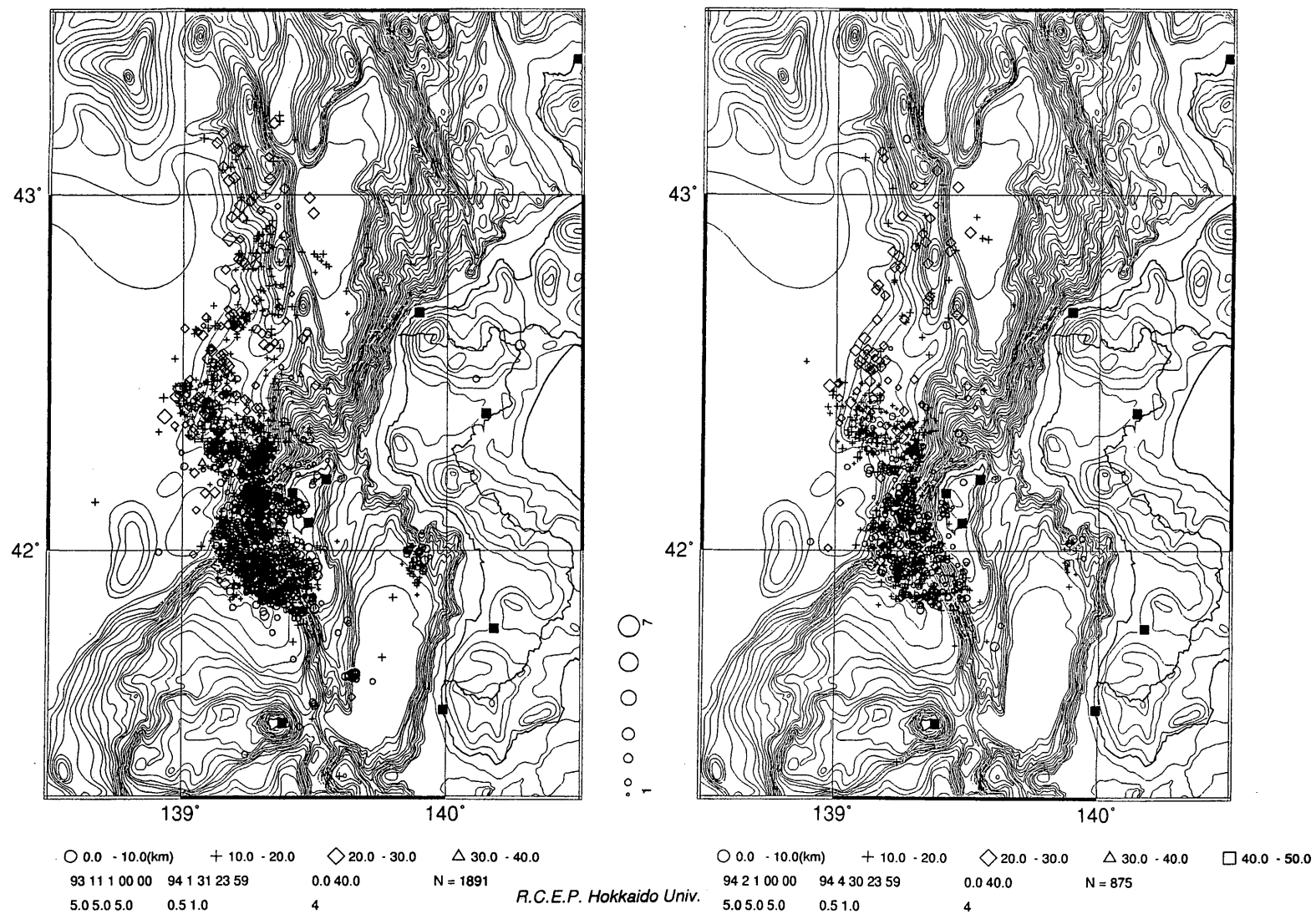
Faculty of Science, Hokkaido University

1993年10月までの余震活動については既に報告してある<sup>1)</sup>。第1図にその後の余震の震央分布を示すが、空間分布はほとんど変化していない。余震域の南端と渡島大島の間は依然として未破壊のままであり、1993年8月8日の江差沖の地震(M6.5)と余震域の間にもまったく地震は発生していない。2次余震をともなったり、余震域の拡大につながるような大きな余震の発生もなく、余震活動は順調に減衰を続けている。

奥尻島内の地震活動の経過を第2図に示す。1993年10月初めに、活動域A, B, Cで同時に活動が活発化した。その後B領域の活動は急激に衰え、11月10日頃にはA領域の活動も急激に衰えて、C領域だけが1994年4月末まで活動を続けていることがわかる。

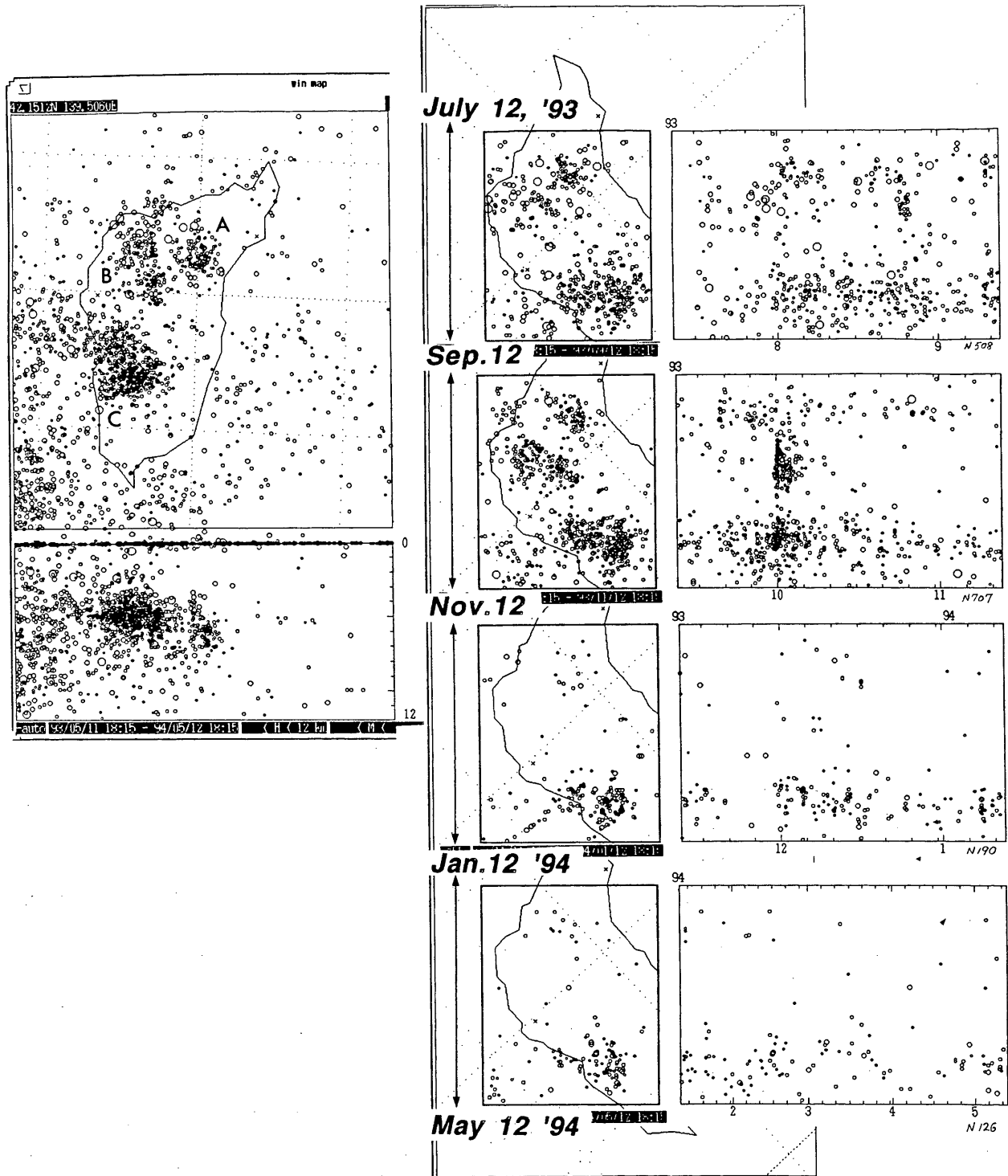
#### 参 考 文 献

- 1) 北大理学部：1993年北海道南西沖地震の余震活動，連絡会報，51（1994），12-20.



第1図 余震の震央分布図。左は1993年11月から1994年1月まで、右は1994年2月から4月まで。

Fig.1 Epicenter distributions of aftershocks. Left : November, 1993—January, 1994. Right : February—April, 1994.



第2図 奥尻島内の地震活動

Fig.2 Microearthquakes in Okushiri Island. Left : Epicenter distribution. Right : Space-time plot in each period.